

熊本県水産研究センター 資源研究部  
TEL 0964-56-2511, FAX 0964-56-4533

## 沿岸資源動向調査結果概要（H29, H30, R1 カタクチイワシ）

平成 29 年度（2017 年度）、平成 30 年度（2018 年度）及び令和元年度（2019 年度）の、カタクチイワシの卵及び仔稚魚数についての調査結果をお知らせします。

調査は図の箇所において、円形稚魚ネット（直径 1.3m）を用いて、昼間に表層及び中層曳きにより実施しました。



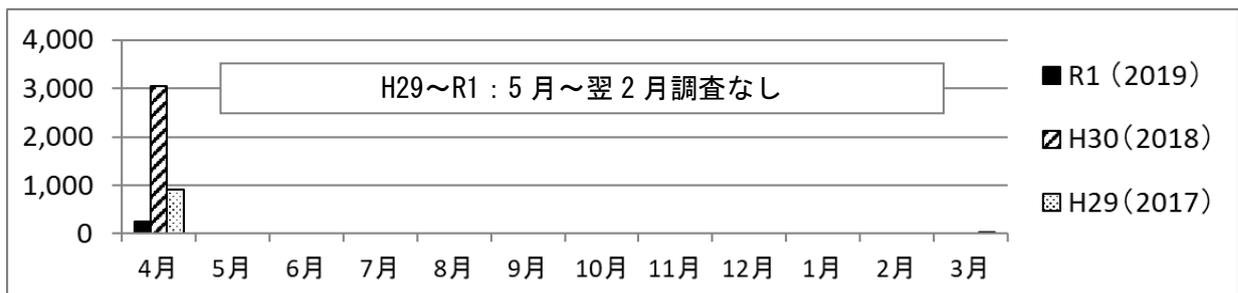
調査定点図

### 1 結果概要

有明海 4 定点、八代海 4 定点、天草海 2 定点で調査を行い、海域ごとの平均値を示しました。

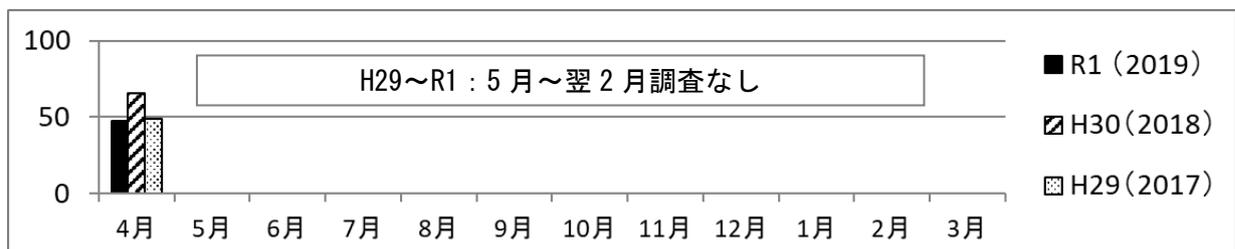
#### (1) 有明海（卵）

直近 3 年間では、平成 30 年度（2018 年度）に最も多くの卵が採集されました。



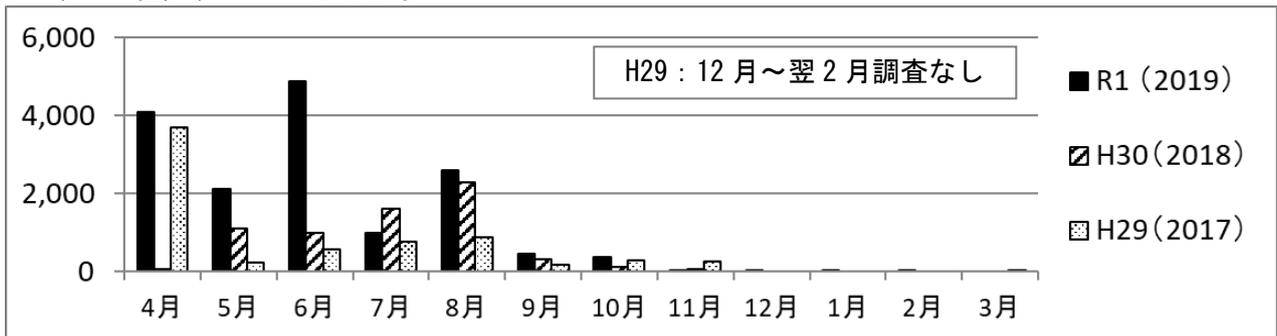
#### (2) 有明海（仔稚魚）

直近 3 年間では、平成 30 年度（2018 年度）に最も多くの仔稚魚が採集されました。



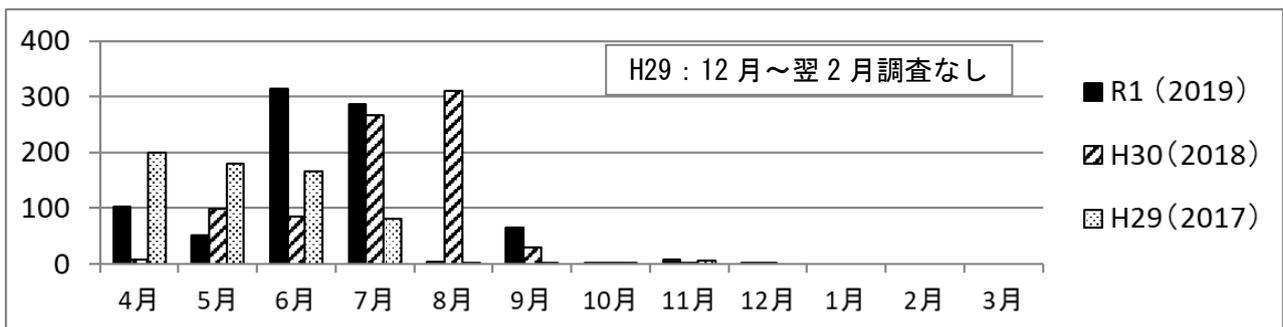
(3) 八代海 (卵)

直近3年間では、令和元年度(2019年度)に最も多くの卵が採集され、6月に最大の4,890粒/1,000m<sup>3</sup>でした。



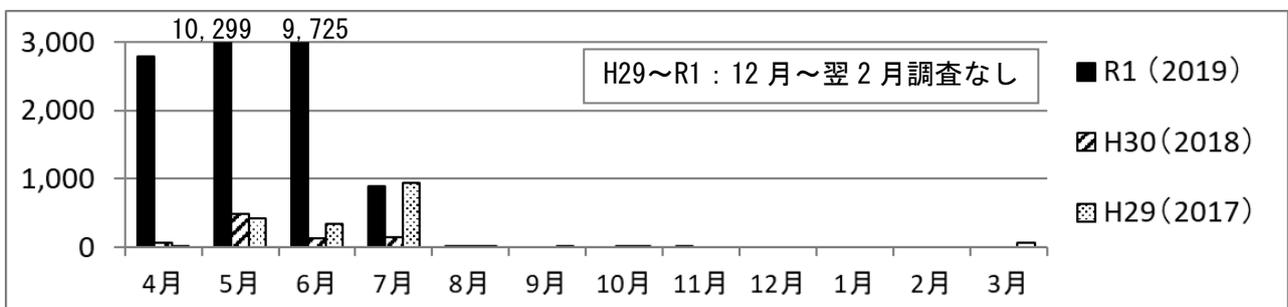
(4) 八代海 (仔稚魚)

直近3年間の年間平均値は71~76尾/1,000m<sup>3</sup>と大きな差はありませんでした。



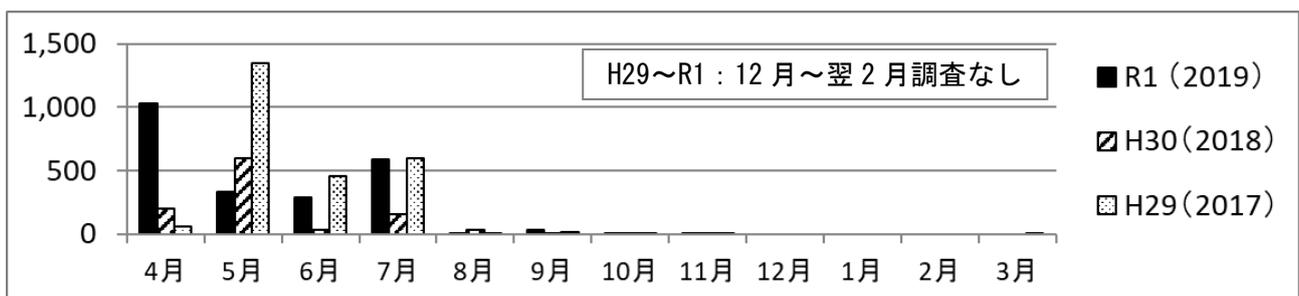
(5) 天草海 (卵)

直近3年間では、令和元年度(2019年度)に最も多く卵が採集され、5月に10,299粒/1,000m<sup>3</sup>、6月に9,725粒/1,000m<sup>3</sup>でした。



(6) 天草海 (仔稚魚)

直近3年間では、令和元年度(2019年度)に最も多く仔稚魚が採集され、5月に最大の286尾/1,000m<sup>3</sup>でした。



※グラフの縦軸は、海水1,000立方メートル当りの卵仔稚魚の出現数を表しています。